



値小だより

島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成30年4月25日 第2号

校長 酒井 元治

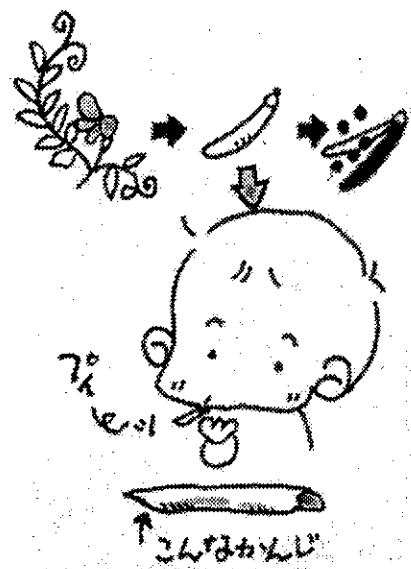
春風のいざない(*~_~*)

先日、佐世保の県立大学前でひょっこり10年ほど前勤めていた学校の保護者さんと顔を合わせました。私が教頭をしていたある学校のお母さんで、聞くと、相浦の総合グラウンドで陸上の記録会に参加している息子の応援だとか。高校1年になったとのことでした。男の子でしたが小学校入学したてのころは登校をしぶり、お母さんが途中まで送ってきては、泣き叫んで帰ってしまうような調子。私は自宅まで行っては、泣き叫ぶこの子を肩にからげて学校まで連れてきていたものです。知らない人が見れば、虐待か体罰かというような絵です。それが小2まで続いていた子です。その子が高1になって陸上の記録会に参加しているのです。月日の流れを感じるとともに、たくましい成長にうれしくなるひとときでした。

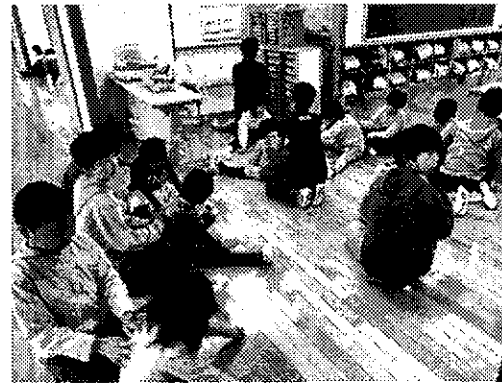
今年の1年生が入学して早くも3週間目になりました。前の話ではありませんが、学校に登校してくるのを誰一人しぶらないのはとてもありがたいことです。

また、1年生の下校に付き合っといっしょに歩いていると、歩道の端の縁石を歩いてみたり、わざと草むらを歩いてみたり、ちょっとした冒険をしている子どもたちの姿を見ることができます。先日は草むらにしゃがみ込んで、ピーピー豆(カラスノエンドウ)を剥いてちっちゃな豆を出して遊んでいる子たちに、「こうやったら、笛になるんだよ。」と教えようとしたのですが、豆が若かったせいもあって、うまく鳴らすことができませんでした。寄り道を推奨するわけでもないのですが、こんなちっちゃな冒険が友だちと帰る楽しみであり、大切な体験なんだと思いました。

小値賀の野原にはまだまだ、たくさんのおもちやも転がっているようです。過ごしやすいくこの季節、お子さんと歩いてみませんか。



教えること、教わること、生かせること、学ぶこと



毎年のことですが、この時期は1年生のお世話を一生懸命にがんばってくれる6年生の姿を見ることができます。

4月いっぱい、集団登校なのですが、1年生を気遣って歩く速度を合わせてやってくる高学年、しっかりと手をつないで学校まで楽しそうに歩いて来る1年生。微笑ましい風景だと思います。昨日みたいな雨の日には、傘のさし方をアドバイスし

ながら来たり、レインコートのフードに隠れた1年生の表情を確かめたりしながら登校している高学年です。登校したら1年生教室を覗いて、ランドセルの片付けなどがちゃんとできているかを確認します。

また、小値賀小学校の朝はストレッチ運動から始まりますから、1年生と6年生は半分半分に分かれて、1・6年の2教室でペアを組みます。1年生の背中をやさしく押してやって、「もうちょっとがんばって!」と声をかけています。逆に1年生は6年生の背中にどっかり乗っかって、前屈の補助を楽しそうにしている子もいます。

6年生も1年生に教えているようで、実は人との関わり方を学んでいる、そう感じる場面が多々あります。1年生のお世話を通じて学ぶことの多い6年生。1年生に優しくすることで、より心が豊かになったり、自分の中に優しくできる勇気を見つけたり、新たな自分を見つけることができる時間です。

おいしい給食、大好き!

16日(月)から1年生の給食も始まりました。初日はもちろんカレーライス。私が今までお世話になった学校は、たぶん全て1年生の初日はカレーだったように思います。日本のどのくらいの学校がそうなのでしょう。不動の鉄板メニューです。2日目は唐揚げ、3日目は麻婆豆腐、4日目はスパゲティーナポリタン、5日目はハンバーグと続きます。大好きメニューのスタートで、1年生もお残しなしの給食です。



32年度に向けて変わります

水	
朝の会	
1校時	8:10～ 8:55
2校時	
2校時	9:00～ 9:45
3校時	
3校時	9:50～10:35
4校時	
4校時	10:45～11:30
5校時	
5校時	11:35～12:20
給食	
昼休み	
清掃	
6校時	14:10～14:55
15:10	下校完了
15:30～	校内研修 職員会議

P T A 総会でもお話したことですが今年から学校の様々な教育内容等が変わります。それは、前回の値小だよりでもお伝えしたように、小値賀の小中高一貫教育のより良い進化を目指すものと、日本全体の学校教育の基準となる「学習指導要領」の改訂によるものです。

この「学習指導要領」は、ほぼ10年ごとに改訂され、その時代に合った教育内容が全国的な基準の下実施されるように定められたものです。それぞれの教科等が目指すものや内容も変わりますが、小学校で大きく変わるのは基準とされる指導時数です。この指導要領によって、最低実施しなければならないとされる年間の授業時間数（小学校の1コマは45分間で換算）が決められています。簡単にまとめれば、3年生から6年生の外国語（英語）指導に時数が下のようになります。（左はこれまで、右は32年度からの分）

3・4年生

0時間→35時間

5・6年生

35時間→70時間

完全に移行するのは32年度からです

が、その準備段階となる今年度、来年度はその半分ほどの時間を増やす必要があります。そのため、もうすでにご覧になっているとは思いますが、水曜日の日課を午前中に5コマ、午後に1コマ（3年生以上）設けているわけです。また、水曜日の6コマ目は奇数週の実施となります。リズムが悪かったり、いろいろとわかりづらいところがあったりもするのですが、これで試行していこうと思っています。ご理解とご協力をお願いいたします。

傘の修理屋さん始めます！

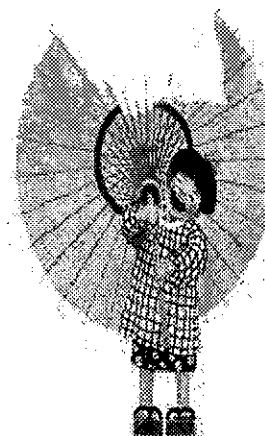
傘の修理屋さん始めます
(5月より)

場所 小学校校長室

料金 高い（ただし、礼儀正しい子ども、お礼が言える子どもは0円）

注意 素人の修理屋さんですので、直せないものもあります。
ひどくこわれたものは無理です。
他のことで忙しいときは、時間をいただくことがあります。
中学生も受け付けます。
もし、すぐに壊れちゃっても文句を言わないでください。

以上 修理担当：酒井



毎朝、校門に立って子どもたちを迎えていると、風雨の強い日に傘をこわして登校する子をよく見かけます。最近の傘は安い分こわれやすいこと、島ではどうしても風が強いこともあるかと思えます。お気に入りの傘がこわれてがっかりしている子もいれば、「まあ、こんなもんさ。」とあきらめている子も。以前からやってみたくは思っていたのですが、物を大切に作る心と礼儀正しさを養いたいと思い、梅雨の時季を前に私のわがままで始めます。ご活用ください。